

試合形式の練習で子どもたちに指導を行う中井選手



「自信を持ってプレーを」 本市出身のJリーグ選手が指導

日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）・藤枝MYFC マイエフシーへの加入が内定している本市出身の中井 なかい 選手が1月8日、小学生時代に在籍していたサッカーチーム・FCドリームの練習に参加し、同チームの子どもたちに指導を行いました。

中井選手は現在大学4年生で、3月から始まる2022シーズンから藤枝MYFCへ加入することが、昨年8月に内定しました。FCドリームの練習で中井選手は、「小学生のときからプロになれると信じてやってきた。みんなも自信を持ってプレーをしてほしい」と子どもたちに話していました。

飲酒運転のない社会の実現に向け センコー物流倉庫（株）が宣言

飲酒運転の根絶を目指す「飲酒運転根絶宣言式」が12月10日、センコー物流倉庫株式会社（八日市場イ）で行われました。

宣言式では同社の社員が、匝瑳警察署の難波透署長の前で「飲酒運転をしない、させない、許さない」という理念を持ち続け、社会から飲酒運転が根絶されるよう、この取り組みを継続します」と力強く宣言。社員一同が飲酒運転のない地域社会の実現に向け、意識を新たにしました。



難波署長（左）の前で飲酒運転根絶を宣言する同社の社員

文化財を守るため 飯高寺火災防御訓練を実施



鐘楼付近の山林へ放水する消防団員

国指定重要文化財である飯高寺で火災が発生した場合に備え、1月22日に同所で火災防御訓練が実施されました。

これは1月26日の「文化財防火デー」にちなみ行われたもので、匝瑳市横芝光町消防組合や市消防団（5分団）、史跡飯高檀林跡を守る会などが参加。飯高寺講堂内南側付近からの出火を想定し、実際に放水を行って火災発生時の動きを確認しました。

児童らが力士と交流 石浦関が飯高特支を訪問

飯高特別支援学校に12月17日、大相撲の幕内力士・石浦関（宮城野部屋）が訪れ、児童・生徒らと綱引きやパラスポーツのポッチャを通じて交流しました。

これは、コミュニティ・スクールである同校を拠点として、地域にパラスポーツを広める目的で行われたもの。石浦関らの力士は、小・中学部の児童・生徒と綱引きで“力くらべ”をした後、高等部の生徒や地元住民などとチームを組みポッチャを体験しました。



石浦関らとポッチャを行う飯高特別支援学校の生徒

フェンシングの魅力子どもたちへ 金メダリスト・山田選手らが特別授業

フェンシングの魅力を伝える特別授業が1月18日、野田小学校で行われ、同校の4～6年生95人が競技のルールを学んだり、基本動作を体験したりしました。

これは、県と日本フェンシング協会が、競技の普及を目的に実施する学校訪問事業として行ったもので、今回は、東京オリンピック男子エペ団体金メダリストの山田^{まさる}優選手がゲストとして参加。児童からの質問に対し、山田選手は、「(オリンピックで頑張れたのは)フェンシング選手であった妻の分も、一生懸命やりたかったからです」と答えていました。また、同協会のトップ選手によるデモンストレーションも行われ、児童たちは間近で繰り広げられる激しい攻防や剣さばきに熱い視線を送っていました。

終了時には、児童を代表して6年の下宿^{しもじゅくこころ}心さんと伊藤^{いとう}勇座^{ゆうざ}さんから選手たちにお礼の言葉が贈られ、下宿さんは「あまり知らなかったフェンシングに興味が持てました」、伊藤さんは「山田選手のこつこつ頑張る話を聞いて、自分も頑張ろうと思いました」と話していました。



▲山田優選手(前列中央)を中心に記念撮影
◀村上仁紀選手と浅海聖哉選手によるデモンストレーション



コンペティションに出場した児童たち

「竹の子オーケストラ」が念願の金賞に 千葉県管弦楽コンペティション

八日市場小学校の音楽部「竹の子オーケストラ」が、1月8日に千葉市で開催された第21回千葉県管弦楽コンペティションに出場し、小学校部門で金賞に輝きました。

コンペティションには同部から10人が参加し、バイオリン7人(うちビオラパート2人)、チェロ2人、コントラバス1人の編成による弦楽十重奏で『カプリオール組曲』を演奏しました。部長の鶴岡^{つるおか}弥恵^{やえ}さん(6年)は、「去年は銀賞だったので、今年の大会は金賞を目指して練習してきました。本番では少し失敗もあったけれど、目標がかなえられてうれしかったです」と喜びを話しました。

迅速かつ適切な初期消火を行う 永瀬さんへ消防組合から感謝状

火災現場へいち早く駆け付け、初期消火を行ったとして1月21日、匝瑳市横芝光町消防組合から永瀬喜久雄さんへ感謝状が贈られました。

永瀬さんは1月16日、自宅付近の住宅で発生した火災に気が付くと、住宅内にあった消火器を用いて消火を行い、迅速かつ適切な対応により被害を最小限に留めました。

永瀬さんは、「消火器がすぐ見付かって良かった。地元の防災訓練のおかげでとっさに対応できました」と話しました。



大木良章消防長(左)から感謝状が手渡される永瀬さん